

平成 30 年度環境ユース海外派遣研修
～ インドネシア ～

募集要項



主催：独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部

協力：公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEEF)

目次

1. 環境ユース海外派遣研修について	3
(1) 目的	3
(2) 各プログラムの日程	3
(3) 短期・長期コースの定員および対象	4
(4) 応募資格	4
(5) 研修参加費	5
2. 応募方法および応募締切日	5
(1) 応募方法	5
(2) 申込先	5
(3) 応募締切日	5
(4) 応募方法に関する注意事項	6
(5) ヒアリング	6
(6) 研修生の審査・通知	6
3. その他	6
4. 研修参加にあたっての注意事項	6
5. 問い合わせ先	7

別添資料

1. 現地派遣研修スケジュール(予定)

1. 環境ユース海外派遣研修について

(1) 目的

SDGs(持続可能な開発目標)が 2015 年の国連サミットで採択され、2030 年のゴール達成に向けて重要なキーワード・新たな物差しとして国内外で大きく動き始めています。

この研修では、環境問題や SDGs 達成に向けた事例を講義やフィールドワーク、地域住民との対話を通じて学びます。そして、環境や国際協力の知識・ノウハウを身に付け、将来的に第一線で活躍することを目指します。

(2) 各プログラムの日程

環境ユース海外派遣研修は、「事前研修」、「現地派遣研修」、「研修報告会」の 3 部構成で実施します。各プログラムの日程及び場所、ねらいは下記のとおりです。なお、現地派遣研修の参加者は事前研修及び研修報告会への参加が必須となります。

事前研修

日程： 2019 年 1 月 12 日(土)9 時 30 分～17 時 30 分 (予定)

2019 年 1 月 13 日(日)9 時 30 分～15 時 30 分 (予定)

場所： 東京都内(予定)

ねらい： 研修の目的やスケジュールを理解します。また、インドネシアの概要や国際力の基礎的な知識を学びます。

現地派遣研修

日程(短期コース)： 2019 年 2 月 19 日(火)～3 月 1 日(金) (計 11 日間)

日程(長期コース)： 2019 年 2 月 10 日(日)～3 月 1 日(金) (計 20 日間)

場所： インドネシア (ジャカルタ、西ジャワ、北スマトラ)

ねらい： 環境問題の解決・SDGs 達成に向けた活動事例や課題を学びます。

* スケジュール(予定)については別添の参考資料をご確認ください。

研修報告会

日程： 2019 年 3 月 16 日(土)または 2019 年 3 月 17 日(日)のどちらか 1 日

場所： 東京都内または川崎市内(予定)

ねらい： 国際環境保全活動に関するアクションプランを作成し、発表します。

(3) 短期・長期コースの定員および対象

短期・長期コースの定員および対象は下記のとおりです。

短期コース

定員： 5名

対象： 環境分野における一定の活動実績(2～3年程度)や知識を有する日本の環境NGO・NPOスタッフなど。就業しながら研修に参加する方を主な対象としています。

長期コース

定員： 5名

対象： 環境分野の国際協力を強い関心を持ち、開発途上地域における環境保全活動に参加する意欲を有する方を主な対象としています。

(4) 応募資格

短期・長期コースの定員および対象に加えて、下記の応募資格を満たす必要があります。

【短期・長期コース共通】

- ① 18歳以上 35歳未満の男女(高校生は不可、未成年者は保護者の同意が必要となります)。
- ② 研修の目的や趣旨を理解し、貫徹する意思や学習意欲があること。
- ③ 心身ともに健康で、事前研修から報告会まですべての日程に参加ができること。
- ④ 日本語でのコミュニケーションに支障がなく、簡単な日常英語を理解できること。
- ⑤ 安全面等に配慮した集団行動ができること。
- ⑥ 過去に当該研修に参加したことがないこと。
- ⑦ 一時的な短期滞在者(在留カードを有していない者、外国人登録をしていない者、過去1年間日本に滞在していない者、1年以内に日本から離れる可能性のある者)でないこと。
- ⑧ 行政機関に所属する者(国家公務員、地方公務員、独立行政法人職員)でないこと。

【短期コース希望者限定】

- ① 環境NGO・NPOでの活動実績を2～3年程度有していること。(所属団体からの推薦が得られれば、NGO・NPOスタッフのほか、ボランティアとして関わっている方も含みます。)
- ② 環境問題の基礎的な知識、所属団体が実施する活動はじめ環境保全活動に関して相応の知識を有していること。

(5) 研修参加費

短期・長期コースの研修参加費は下記のとおりです。

短期コース：5万円

長期コース：8万円

研修参加費は、現地派遣研修に必要な経費(研修プログラム費用など)及び事前研修、研修報告会などの経費の一部に充当されます。ただし、次の経費は別途、各自で負担していただきます。

- ・ 渡航書類等作成代行料金(パスポート、ビザの取得等)
- ・ 飲食代
- ・ 個人的性格の費用(クリーニング代、電話代、娯楽費等)
- ・ 超過手荷物運搬料金
- ・ 傷害、疾病に関する医療費
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 予防注射接種費

2. 応募方法および応募締切日

(1) 応募方法

独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金のホームページ

(<http://www.erca.go.jp/jfge/training/h30/haken.html>)から必要書類をダウンロードし、必要事項を記載の上、Eメールに添付してお送りください。提出書類は下記のとおりです。

- ① 平成30年度環境ユース海外派遣研修 申込書
 - ② NGO・NPOなどの環境保全活動単体からの推薦状
- ※ 提出は任意ですが、選考・評価の参考資料となります。

(2) 申込先

indonesia_training@jeef.or.jp (件名を「環境ユース海外派遣研修申込_氏名」としてください。)

※ 必要書類は郵送での申込はできません。

(3) 応募締切日

2018年12月10日(月)17時(厳守)

(4) 応募方法に関する注意事項

- 必要書類や記載事項に不備があった場合は、審査の対象となりませんのでご注意ください。
- 応募いただいた方全員に 2018 年 12 月 11 日(火)までに、必要書類受領のメールをお送りします。上記の日までに受領メールが届かない場合は、「5. 問い合わせ先」までご連絡ください。
- 書面に記載された個人情報、選考の目的以外に利用することはありません。
- 応募書類の内容について、電話等によるヒアリングを実施いたします。詳細は(5)ヒアリングをご確認ください。

(5) ヒアリング

申込書類到着後、2018 年 12 月 12 日(水)までの間に 10 分程度電話等にて行います。ヒアリングの日程は必要書類到着後、メールにて調整を行います。

(6) 研修生の審査・通知

- 申込書類をもとに趣旨に照らして審査します。
- 選考結果は 12 月 28 日(金)までに、応募いただいた方全員に郵送で通知します。

3. その他

- 審査の結果、研修適格者が募集人数に満たない場合(最少催行人数：短期コース 2 名、長期コース 3 名)、または派遣先地域の治安状況や災害などで計画どおりの実施が困難になった場合、研修の実施を中止することがあります。
- 現地派遣研修の参加者は、東京都近郊(予定)での事前研修および研修報告会への参加が必須となります(交通費は別途支給)。
- 現地派遣研修において旅行会社を通じ海外旅行損害保険に参加者全員加入します。

4. 研修参加にあたっての注意事項

1. 研修中は、主催者や協力機関の担当者(以下「主催者等」という。)の指示や決められた手順に必ず従ってください。主催者等や他の研修生に迷惑をかける行為、或いは決められた活動に参加しない等、主催者等が研修生としてふさわしくないと判断した場合は、研修生としての資格を失います。
2. 現地研修において、発現した持病や既往症に係る治療費などについては、海外旅行傷害保険の補償の対象となりません。この場合、治療費などの費用は、当該研修生の負担となります。また、引き続き研修に同行できる状態にならないときは、

- 研修生としての資格を失います。
3. 研修生としての資格を失った場合(研修生自己都合による辞退の場合を含む)に発生する各種のキャンセル料・手数料等は、原則として当該者が全額負担するものとします。また、現地研修中に資格を失い、予定外の行程で帰国する場合の旅費も当該研修生の負担となります。
 4. 参加費は、研修全体に要する費用の一部に充当されるため、万が一途中辞退となった場合においても返金いたしません。
 5. 現地研修中の事故や病気等が起こった場合は、海外旅行傷害保険の範囲内において補償するものとします。なお、研修先で研修生の故意または過失によって損害が生じた場合の賠償責任は全て当該研修生が負うものとします。

5. 問い合わせ先

公益社団法人日本環境教育フォーラム(担当：瀬尾、加藤)
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-38-5 日能研ビル 1階
TEL 03-5834-2897 FAX 03-5834-2898
Eメール indonesia_training@jeef.or.jp
※旅行手配については、別途旅行業者が行います。

別添資料 1：現地派遣研修スケジュール(予定) 1/2

日程	長期	短期	訪問先	プログラム内容	宿泊地
2/10	日	1	長期研修生出発：日本→ジャカルタ	NH855 便 10:20 羽田発 - 16:15 ジャカルタ着	ジャカルタ市内ホテル
2/11	月	2	国家開発企画庁 SDGs 統括事務局	インドネシアにおける SDGs 国家計画の概要を学びます。	ジャカルタ市内ホテル
2/12	火	3	JICA インドネシア事務 UNDP インドネシア事務所	日本や国連機関による国際協力の現状や課題を学びます。	ジャカルタ市内ホテル
2/13	水	4	NTFP Indonesia Borneo Chic	はちみつやラタン(籐)などの自然の恵みを活用した商品の生産・販売を通じた環境保全と生計向上の両立を実現している事例を学びます。	ジャカルタ市内ホテル
2/14	木	5	グヌン・ハリムン・サラック国立公園 (GHSNP)	2/14 午前 ジャカルタ→GHSNP(ワゴン車) 2/14 午後 - 2/16 午前	GHSNP 内 マラサリ村リサーチ ステーション
2/15	金	6		GHSNP ではアグロフォレストリーやエコツーリズムなどの住民参加型の国立公園管理が行われています。ここでは、エコツーリズムの体験や地域住民との意見交換を通して、国立公園における課題と対応を学びます。	GHSNP 内マラサリ村 ホームステイ
2/16	土	7		2/16 午後 GHSNP→ジャカルタ(ワゴン車)	ジャカルタ市内ホテル
2/17	日	8	研修前半ふりかえり	研修前半の学びをふりかえります。	ジャカルタ市内ホテル
2/18	月	9	休息日		ジャカルタ市内ホテル
2/19	火	10	ジャカルタ湾岸マングローブ植林地	マングローブの伐採、エビ養殖地への転換、放棄までの環境劣化の過程を学ぶとともに、地域住民によるマングローブ林再生の取り組みを学びます。	ジャカルタ市内ホテル
			1	短期研修生出発：日本→ジャカルタ	

別添資料 1：現地派遣研修スケジュール(予定) 2/2

日程		長期	短期	訪問先	プログラム内容	宿泊地
2/20	水	11	2	AMAN (インドネシア先住民ネットワーク)	2/20 午前 ジャカルターバンドン(バス) ネットワーク型 NGO の存在意義や活動内容について学びます。また、研修生は日本における環境活動の事例を紹介し、意見交換を行います。	バンドン市内ホテル
2/21	木	12	3	西ジャワ州環境局 チタルム川流域管理事務局	2017 年「世界で最も汚染された川」に選ばれたチタルム川流域において国家プロジェクトとして実施されている流域環境改善の取り組みを学びます。	バンドン市内ホテル
2/22	金	13	4	PT. Putra Mulya Terang Indah	チタルム川流域の環境改善に向けて先端技術の導入や植林活動を通して環境改善に取り組む地元繊維工場の活動事例を学びます。	バンドン市内ホテル
2/23	土	14	5	協同組合 Bangkit bersama	チタルム川流域において地域住民が主体となり、ゴミの収集と再利用を目的として設立された組織です。ゴミ銀行の活動事例や行政、地元企業との連携について学びます。 2/23 午後 バンドン→ジャカルタ(バス)	ジャカルタ市内ホテル
2/24	日	15	6	グヌン・ルーセル国立公園 (GLNP)	2/24 午前 ジャカルターメダン(飛行機)、到着後タンカハンへ移動(ワゴン車) 2/25 午前 - 2/26 午前	GLNP 内 タンカハン地区 ゲストハウス
2/25	月	16	7		GLNP は、かつて森林伐採で暮らしていた住民が、観光ビジネス実施を通じて環境保全に関わるようになった好事例です。エコツーリズムの体験や地域住民との意見交換を通して、事業実施に至る合意形成のプロセスや住民参加型の国立公園管理の実例を学びます。	
2/26	火	17	8		2/26 午後 タンカハン→メダン(ワゴン車)	
2/27	水	18	9	アクションプランづくり	研修での学びをふりかえるとともに、国際環境保全活動のアクションプランづくりを通して、企画提案能力の習得を目指します。	メダン市内ホテル
2/28	木	19	10		2/28 午後 メダン→ジャカルタ(飛行機)	ジャカルタ空港近郊 ホテル
3/1	金	20	11	長期・短期研修生帰国：ジャカルター日本	NH872 便 7:25 ジャカルタ発 - 16:30 羽田着	